

が一丸となって、環境美化運動を実施しています。また、地域ごとに道路・河川愛護作業を行い、「ゴミ拾い」を行っています。この夏、当町で開催された東日本鮎釣り大会では、参加者からゴミの無いきれいな那珂川であると褒めの言葉をいただきました。今後とも、きれいな川を守っていかねければならないと考えています。

また、小川総合福祉センターの東側には堤防を利用した遊歩道や東屋、多くの人が集まれる河川公園が整備され、夏祭り、鮎釣り大会などのイベントに利用されています。皆さんもこの素晴らしい河川公園を利用して、地域の皆さんが環境の美化に関心を持ち、その活動に楽しく参加できるような取り組みをしていただけるようご協力をお願いいたします。



岡 佐和議員
(馬頭西小)

町づくりについて

【質問】今後少子高齢化がますます進む時代になるので、

高齢者が健康でいるためにフジオ体操や健康体操による健康づくりを実施してはどうでしょうか。参加した人にはポイント券を出し、貯まったらお買い物券と交換。集まりに参加する機会が増えると認知症の予防になると思います。

【答弁】(町長)町では、子どもからお年寄りまで、誰もが心も体も健康で、「いきいきと暮らせる町」を目指して、少子高齢化対策や健康づくりに取り組んでいます。

当町の老人クラブには2千人近くの方が加入して活動していますし、「おたっしや会」や「転ばん教室」など、いつまでも元気でいるための運動を各地で実施していますので、健康なお年寄りが多く、保険料は県下で一番安くなっています。

ご提案のあったラジオ体操や健康体操は、高齢者だけでなく、誰もが無理なく参加できるものですので、ボランティアなどの多くの方の協力を得ながら、各地域・職場、グループなどでこうした運動の機会が持てるように考えていきたいと思えます。また、ポイント券については、いろいろな団体と話し合っていきたいと思えます。

将来に向けて、みんなで幸

せな生活が送れるよう力を合わせていける那珂川町にしたいと思えます。

スポーツを通じて町全体が健康な町づくりをするために



田所拓朗議員
(小川小)

【質問】スポーツを通じて子どもからお年寄りまで健康でいられるような町づくりを目指し、大きな運動場や体育館、安心して遊べる大きな公園、ゲートボールやグラウンドゴルフができる施設、遊歩道の整備など健康のためにみんなが明るく、楽しく、集まれるような場所を作って欲しいです。

【答弁】(教育長)町では、現在、体育協会や体育指導員が中心となって、いろいろな競技を取り入れた総合型地域スポーツクラブを平成22年度に設立するための準備を進めていますので、ぜひ、皆さんからの意見を生涯学習課までお寄せください。また、町の社会体育施設整備管理計画を作る時には、今回のご提案を参考にして、みんなが明るく、楽しく、集まれる場所の整備

をしていきたいと思えます。

那珂川町の文化財保護・整備活動について



穴山甲斐議員
(薬利小)

【質問】那珂川町は、歴史のある町で数多くの史跡ありますが、中には町民にも知られておらず、管理されていない史跡も見受けられます。

町として、この貴重な文化財を未来に残し、町民に知ってもらうために、どのような活動を行っていますか。

【答弁】(教育長)町では豊かな自然と文化にはぐくまれ、やさしさと活力に満ちたまちづくりを基本テーマとし、那珂川町を代表する文化財の調査、保護、普及活動を積極的に実施しています。

本年3月に出来上がった文化財マップの活用、なす風土記の丘資料館や馬頭郷土資料館の各種事業やボランティアスタッフの協力により、町民の皆さんにも魅力あふれる文化財の保護、普及事業が展開できるようにしたいと思っています。

また、歴史を学ぶことを通

して、自分の住む地域への愛着を深めるとともに、町民の皆さんが、那珂川町が誇れる場所であることをアピールして下さることを期待します。

薬利小のこれから、福祉やごみ問題について



小室茅帆美議員
(薬利小)

【質問】薬利小は、児童数が減って学校がなくなるかも知れません。そうなる小川小へ行くことになると思いますが、距離が遠くなり通うのが大変になります。学校を無くさないで欲しいと思います。薬利小のこれからをどう思いますか。

お年寄りや体が不自由な方のために自宅を回って食べ物や服などを買い物したりするサービスを提供できないでしょうか。

私の住んでいる地区にゴミがたくさん捨てられています。片付けても、その後にまた捨てられないようにするには、どうしたらよいでしょうか。

【答弁】(教育長)薬利小は現在、一部複式学級となっており、先生は2学年の指導

を同時に行えないため、授業と自習を交互に行い、児童の皆さんは十分な指導を受けられない場合があります。

【答弁】(町長) 町では、児童の皆さんが町内すべての学校で均しい環境で勉強できるようにするために最低1学年1学級となるような学校規模を目標としています。そのためには薬利小の統廃合も行っていかなければならぬと考えています。

【答弁】(町長) 現在、ヘルパーを利用しているお年寄りや体の不自由な方は約180名います。食べ物や服などの買い物については、ケーブルテレビなどのインターネット機能を利用して、自宅にいな

ながら買い物できるようなサービスも考えられますので、お店の方々と相談していききたいと思えます。また、町で行っているサービスと合わせて地域に住んでいる皆さんが、優しい気持ちで支えあって、誰もが安心して生活できるように那珂川町にしていきたいと

考えていますので、ご協力をお願いいたします。

【答弁】(町長) ごみを片付けてもまた捨てられるような場所は、町内何箇所もあり、町でも大変に頭が痛い問題です。町では、ごみ捨て禁止の看板の設置やごみ監視員の巡回など再発防止に努めていますが、依然として減らないのが現状です。

この問題を解決するには、地域の方々の協力と子どもたちからごみに関する高い関心と正しい知識を身につけていただくことが、きれいなまちづくりには一番大事なことでないかと考えています。

那珂川町をPRする キャラクターを作ろう



議員 潤 時庭
(小川南小)

【質問】那珂川町にもっと観光客が来てくれればいいと思えます。そのために、町をPRするキャラクターを作ったらいと思えます。

【答弁】(町長) 町ではインターネット等を活用して、観光情報も含めた色々な情報を発信しています。

最近では「八溝ししまる」や「温泉トラフグ」・夕焼け温泉郷那珂川町」として全国的にPR活動を行っております。

町をPRする際、キャラクターは馴染みやすく、親しみやすいものが必要とされます。

来年、那珂川町は合併5周年を迎えますので、その記念事業として町をPRするキャラクターを作りたいと考えています。その際には町の小学生、町民の皆さんからたくさんのお声をお願いたします。

ペットボトルのキャラクター 資源ごみに



議員 莉子 山崎
(小川南小)

【質問】私の通っている小川南小学校では、ペットボトルのキャラクターを集めて世界の困っている子どもを助ける「エコキャラクター運動」をしています。800個集めると、子ども用ワクチンが1本買えます。

那珂川町でも、資源ごみとしてペットボトルのキャラクターを集めれば、もっとたくさん子どもたちが救えるようになると思えます。

【答弁】(町長) ごみとして

捨てられるペットボトルのキャラクターを集め世界の困っている子どもを助ける「エコキャラクター運動」に取り組まれていることは、大変立派で素晴らしいことであると思えます。

町にとりまして、ごみを減らしていくことに繋がりますし、ひいては、地球温暖化対策にもなります。他の学校や家庭・会社などにも取り組んでいただきながら町でも、町内に数箇所ペットボトルのキャラクター専用の回収ボックスを設置し、町全体として取り組んでいきたいと思えます。

子どもが遊べる 場所について



議員 楓美 小口
(馬頭小)

【質問】馬頭の街中には、子どもたちが遊ぶのに適した施設がありません。総合体育館は部活動や試合があり、図書館は勉強している人がいるので静かにしなければいけません、公園は雨が降れば遊べません。

そこで毎日安全に楽しく過ごせ、図書館コーナーや屋内で運動のできるスペース、視

聴覚室、多目的ホール、外にはたくさん遊具がある総合的な児童館を街中に作って貰いたいと思います。

【答弁】(町長) 町では、安心して遊ぶことができる場所として、学校等の校庭、町民体育館の開放や、公園、すすきの森等が整備され、ほかにも福祉センターや美術館などのたくさん施設があります。

また、生涯学習課ではネイチャークラブ等、皆さんが楽しめる催しを実施しており、今後は、地域総合スポーツクラブの設立も計画しています。

皆さんには、那珂川町の自然や現在ある施設などを有効に利用しながら、友達や家族との楽しい遊びを工夫していただきたいと思います。小川地区にある児童館においては、町内の各地域に向いて催しを実施するなど、より多くの遊びを皆さんに提供しております。

今後さらに、町の施設の有効利用を考えながら、安心して皆さんが遊べる場所をつくるように考えていきたいと思えます。

